



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月11日

上場会社名 AI inside 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4488 URL https://inside.ai/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 渡久地 択
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO 管理本部長 (氏名) 高橋 政史 (TEL) 03-5468-5041
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,948	217.5	1,011	464.9	1,010	471.5	600	241.8
2020年3月期第2四半期	613	—	179	—	176	—	175	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	166.20		154.26					
2020年3月期第2四半期	56.05		—					

(注) 1. 当社は、2019年3月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2020年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が当時非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,026	3,032	75.3
2020年3月期	3,007	2,305	76.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,032百万円 2020年3月期 2,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,471	181.0	1,860	330.3	1,858	354.4	1,142	172.0	313.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	3,783,800株	2020年3月期	3,666,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	105,748株	2020年3月期	107,048株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	3,611,580株	2020年3月期2Q	3,133,000株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュフロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

近年我が国において、少子高齢化や人口減により生産年齢人口が減少する一方、人によるデータ入力に関する外部委託市場は2017年度実績で5,830億円あり、この市場は今後成長すると予想されております。(市場規模は全て「BP0(ビジネスプロセスアウトソーシング)市場の実態と展望 2018-2019(株式会社矢野経済研究所)」より)。企業は労働者の在宅ワーク導入など働き方改革をこれまで以上に意識した事業運営が求められていること、また新内閣におけるデジタル庁の創設に向けた動きから、社会的なデジタルトランスフォーメーション(DX)推進は加速していくものとみられます。

このような市場環境において、当社は、ディープラーニングによる手書き文字認識AIを活用した生産性向上のためのAI-OCRサービス「DX Suite」を提供してまいりました。その結果、売上高および各段階利益については以下の実績となりました。

(売上高)

当第2四半期累計期間の売上高は1,948,870千円(前年同期比317.5%)となりました。これは、主に「Intelligent OCR」契約数が前事業年度末に比べて1,873件から12,754件へ増加したこと、「Elastic Sorter」契約数が前事業年度末から比べて418件から552件へと順調に獲得できたことによります。また、エッジコンピューティング用ハードウェア「AI inside Cube」の本番導入数については、政府の給付金事業等による一時需要は落ち着いたものの新規受注が堅調に増加し、前事業年度末の33台から79台へ伸長した結果、売上高の増加に貢献しました。

売上高のうち、リカーリング型モデル(注1)及びセリング型モデル(注2)の内訳は以下のとおりとなりました。

収益モデル	第5期第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		第6期第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%) (注3)	売上高(千円)	前年同期比(%)
リカーリング型モデル	225,210	—	1,604,005	712.2
セリング型モデル	388,684	—	344,865	88.7
合計	613,894	—	1,948,870	317.5

- (注) 1. リカーリング型：顧客が当社のサービスを利用する限り継続的に計上される収益形態を表します。
2. セリング型：特定の取引毎に計上される収益形態を表します。
3. 第4期事業年度は当社株式は非上場であり、四半期報告書を作成していないため、第5期第2四半期累計期間の前年同期比は記載をしております。

(売上原価、売上総利益)

当第2四半期累計期間の売上原価は111,325千円(前年同期比199.5%)となりました。これは、主にサーバ費用20,788千円の増加、サービスの保守費用36,151千円の増加によるものです。この結果、売上総利益は1,837,544千円(前年同期比329.3%)となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

当第2四半期累計期間の販売費及び一般管理費は826,422千円(前年同期比218.0%)となりました。これは、主に業容拡大に伴う採用費・人件費の増加、「DX Suite」の次期バージョンおよび「AI inside Learning Center」に係る研究開発費の増加等によるものです。この結果、営業利益は1,011,122千円(前年同期比564.9%)となりました。

(営業外収益、営業外費用、経常利益)

当第2四半期累計期間において、営業外費用が1,078千円発生しました。これは、主に短期借入金に係る支払利息582千円、為替差損496千円が発生したこと等によるものです。この結果、経常利益は1,010,111千円(前年同期比571.5%)となりました。

(特別損益、四半期純利益)

当第2四半期累計期間において特別損益は発生しておらず、法人税、住民税及び事業税を382,422千円、法人税等調整額27,435千円を計上した結果、四半期純利益は600,253千円(前年同期比341.8%)となりました。

なお、セグメントについては、当社は人工知能事業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて936,804千円増加し、3,712,328千円となりました。この主な増減内訳は、現金及び預金が318,070千円増加したこと、売掛金が571,308千円増加したこと、前払費用が51,805千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べて81,645千円増加し、313,979千円となりました。この主な要因は、自社サーバー設備を含む工具器具備品が52,502千円増加したこと、レンタル資産が33,950千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は、前事業年度末に比べ1,018,450千円増加し、4,026,307千円となりました。

② 負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて293,685千円増加し、987,783千円となりました。この主な増減内訳は、未払法人税等が281,765千円増加したこと等によるものであります。固定負債は、長期前受収益が前事業年度末に比べて1,567千円減少し、6,404千円となりました。この結果、総負債は、前事業年度末に比べて292,118千円増加し、994,187千円となりました。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて726,331千円増加して3,032,119千円となりました。これは、主に、四半期純利益600,253千円を計上したことによるものです。

なお、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は75.3%となり、前事業年度末に比べ、1.4ポイント減少しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月12日にて公表しました2021年3月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2020年11月11日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,534,089	2,852,160
受取手形及び売掛金	220,502	791,810
原材料及び貯蔵品	1,109	1,040
仕掛品	477	—
その他	19,824	68,811
貸倒引当金	△479	△1,495
流動資産合計	2,775,523	3,712,328
固定資産		
有形固定資産	73,647	144,693
無形固定資産	330	9,489
投資その他の資産	158,355	159,796
固定資産合計	232,333	313,979
資産合計	3,007,856	4,026,307
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	126,357	408,123
前受収益	203,527	129,244
賞与引当金	—	70,744
その他	264,212	279,671
流動負債合計	694,097	987,783
固定負債		
長期前受収益	7,971	6,404
固定負債合計	7,971	6,404
負債合計	702,068	994,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,106,000	1,148,564
資本剰余金	1,562,000	1,644,722
利益剰余金	△297,007	303,245
自己株式	△65,204	△64,412
株主資本合計	2,305,788	3,032,119
純資産合計	2,305,788	3,032,119
負債純資産合計	3,007,856	4,026,307

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	613,894	1,948,870
売上原価	55,815	111,325
売上総利益	558,078	1,837,544
販売費及び一般管理費	379,071	826,422
営業利益	179,006	1,011,122
営業外収益		
受取利息	—	10
為替差益	341	—
貸倒引当金戻入額	135	—
講演料収入	—	50
その他	3	7
営業外収益合計	480	67
営業外費用		
上場関連費用	2,000	—
支払利息	747	582
為替差損	—	496
その他	—	0
営業外費用合計	2,747	1,078
経常利益	176,739	1,010,111
税引前四半期純利益	176,739	1,010,111
法人税、住民税及び事業税	1,145	382,422
法人税等調整額	—	27,435
法人税等合計	1,145	409,858
四半期純利益	175,594	600,253

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	176,739	1,010,111
減価償却費	11,741	27,580
受取利息及び受取配当金	△3	△10
支払利息	747	582
為替差損益 (△は益)	△341	—
譲渡制限付株式報酬償却	—	6,825
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,183	546
売上債権の増減額 (△は増加)	10,741	△571,308
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△111	1,015
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	70,744
前受収益の増減額 (△は減少)	120,625	△74,283
長期前受収益の増減額 (△は減少)	15,743	△1,567
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,451	21,401
その他の資産の増減額 (△は増加)	△12,917	△14,911
その他の負債の増減額 (△は減少)	15,728	△2,578
小計	336,962	474,148
利息の受取額	3	10
利息の支払額	△872	△533
法人税等の支払額	△950	△130,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	335,142	343,569
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△49,838	△80,641
投資有価証券の取得による支出	—	△29,985
敷金及び保証金の差入による支出	△21,035	—
貸付金の回収による収入	72	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,801	△110,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△200,000
株式の発行による収入	—	85,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	85,128
現金及び現金同等物に係る換算差額	341	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	264,682	318,070
現金及び現金同等物の期首残高	799,069	2,534,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,063,752	2,852,160

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。